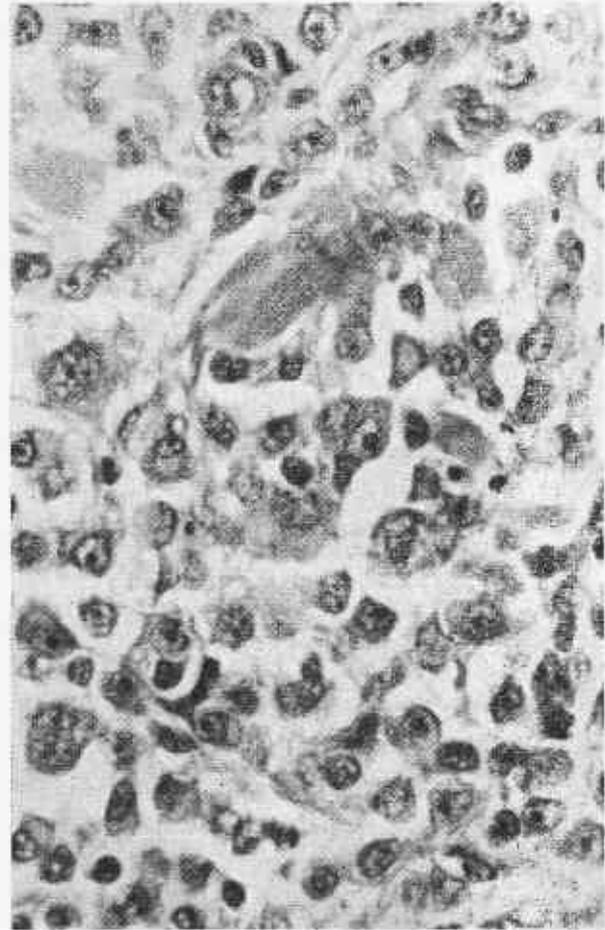
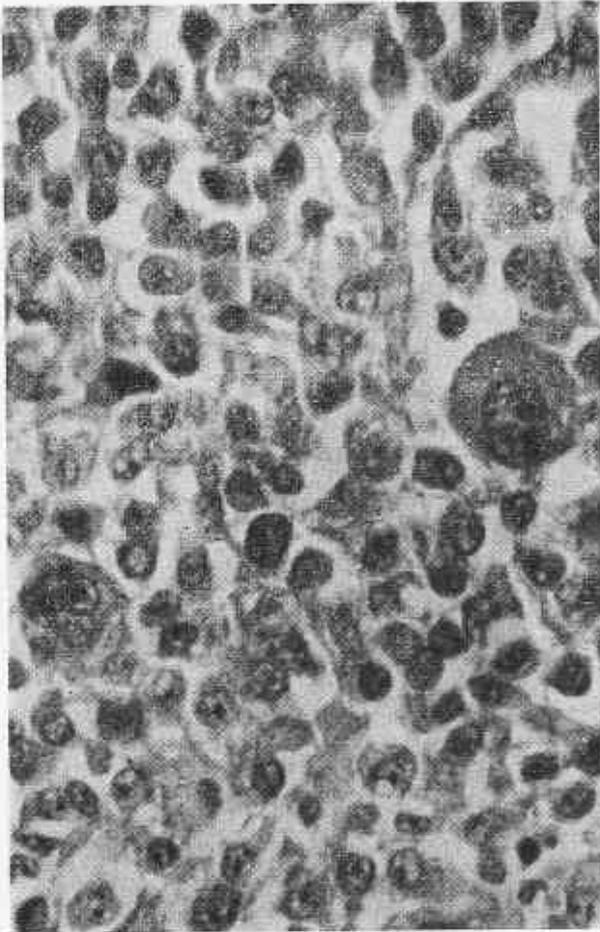


犬の多形細胞肉腫

北里研究所および麻布獣大病理学教室出題・第2回獣医病理学研修会標本 No. 22



犬，雑種，毛色・淡褐色，体格中等，牝，年齢・10才受診の約半年位前に，右側の腰角から臀部にかけて，皮下に小さな隆起物が出来た。触ると疼痛がある。元気食欲には変わりがなく，診断を受け，入院し，腫瘍の摘出手術を受けた。手術後の経過は良好であった。

腫瘍は円形で， $10 \times 9.5 \times 4$ cm，重さ 360 g，中央は壊死を起し軟化していた。組織学的所見は，写真に見られるように，細網細胞を思わせる角ばつた細胞の集りで，互に細い線維で連り，ところどころに，かなり大き

な Sternberg 型，または Dorothy-Reed 型巨細胞が認められ，小型の円形細胞も混在している。いわゆる多形細胞肉腫と考えられるものである。犬のポリープといわれるものの中には，この種のものも，しばしば含まれているものらしい。人に見られる原因不明のホチキン氏病 (Hodgkin's disease) すなわち，淋巴肉芽腫症 (Lymphogranulomatosis) はこれと極めて近い像を呈する。犬にも本病があるかどうか，興味のある問題である。